
履修計画（時間割）の作成要領

◆ 履修上の注意

- ① 専門科目『学科専門科目』の科目は、当該学科の学生にとって共通的（普遍的）に重要な科目であり必ず修得すべき科目群です。また、『コース専門科目』には、各コースの目的等を達成するために必要な科目を展開しています。皆さんは「コース履修モデル」等を参考に自ら計画的に必要な科目を修得してください。
- ② 「I・II」または「A・B」が付いている科目は、内容が多いため、1年間を通じて学習しなければマスターできない科目を意味する。そのため、原則として春学期と秋学期は連続して同じ科目を履修（同じ曜日・時限）することが望ましい。（I→II、A→Bの連続受講）
（例）「哲学Ⅰ」（春）と「哲学Ⅱ」（秋）
「会計学A」（春）と「会計学B」（秋）
- ③ 同じ曜日・時限に、2つ以上の科目を履修することはできない。
- ④ 既に単位修得した科目を再履修することはできない。
- ⑤ クラスが指定されている科目は、自分のクラスの曜日・時限しか履修することはできない。
（「S.D.Seminar」、経営学科の「経営学」等）
* クラス記号は、学生証の右上に記載してあります。
- ⑥ 同一名称の科目が、週に複数あっても週1回しか履修してはいけない。
（但し、芸創プロデュース学科の「DAW」と「ダンス」は週2回で1回分）
- ⑦ 自分の所属年次より上級年次に配当された科目を履修することはできない。
（自分の学年および下級年次の配当科目のみ履修できる。）
- ⑧ 受講対象者（日本人、留学生）を区分した科目がある。
（「時間割表」の備考欄に、「日本人対象」または「留学生対象」と記載）
- ⑨ 履修科目の合計単位数が履修可能単位数を超えてはならない。
（1年次：各学期 22 単位、2年次以上：各学期 24 単位）
- ⑩ 教職課程を希望する学生は、1年次から履修科目を考慮して選択することが望ましい。
《「教職課程について」参照》

◆ シラバスの見方

- * 「シラバス」とは、“講義概要”のことであり、授業の概要、到達目標、学習内容、評価方法、使用するテキスト等について説明したものです。
- * シラバスを見るには、「Web履修申請システム」から「履修申請（時間割）」画面に入り、青文字で表示された科目名を選択してください。または、「学生用メニュー」の「Webシラバス」

に、講義名、代表教員名、校地等を入力してください。

基礎科目、専門科目、教職科目等、すべての授業科目の講義内容を閲覧することができます。

◆ 語学系科目の履修要領

「基礎科目」の「語学系」科目は、日本人学生と留学生で履修要領が異なります。

【日本語を母国語とする者】

- ① 「Aグループ」:「英語Ⅰ」～「英語Ⅳ」の中から、卒業までに必ず4単位以上修得すること。
- ② 「Bグループ」:Bグループに開講されている「第二外国語」の中から、卒業までに必ず4単位以上修得すること。
- ③ 「Dグループ」の「ビジネスイングリッシュⅠ・Ⅱ」は、選択科目であり自由に履修できます。

【日本語を母国語としない者】

- ① 「Cグループ」の「日本語Ⅰ」～「日本語Ⅳ」の中から、卒業までに必ず8単位以上修得すること。
- ② 「Aグループ」「Bグループ」は、留学生にとって選択科目であり自由に履修できます。
(但し、その原語を母国語とする者は、当該科目を履修することはできません。)
- ③ 「Dグループ」の「ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ」は、選択科目であり自由に履修できます。
- ④ 「Dグループ」の「日本語(漢字・語彙)」「日本語(文法)」「日本語(読解)」は、入学時の日本語プレメントテストの結果に基づき、担当教員から履修を指示された学生のみ履修できます。

◆ 抽選が必要な科目

授業科目の中には、受講人員の制限等の理由から、Web入力時「抽選講義申請」しなければならない科目があります。後日、コンピュータによる抽選が行われますが、希望する曜日・時限のクラスが「落選」の場合は、再度「抽選講義申請」を行う必要があります。

《「抽選科目を選ぶには」参照》

◆ e-ラーニング

『e-ラーニング』(メディアを利用して行う授業)とは、他キャンパスの先生が双方向の通信手段を使って行う授業です。

※ 「e-ラーニング科目」は、履修登録時に配布する「時間割表」の備考欄に「メディア利用科目」と記載してあります。

◆ 学習経験に応じるクラス編成

次の科目は、学生の学習経験(習熟度)に応じたクラス編成をとっています。

① 英語

* 日本語を母国語とする者

入学時のオリエンテーション時に、日本人学生を対象として「英語プレメントテスト」を実施します。その結果により、「英語Ⅰ」～「英語Ⅱ」のレベルの中から受講クラスが指定されます。曜日・時限の変更は受けません。2年次以降の履修においては「レベル・クラス指定」または「抽選講義申請」が必要な科目となります。

* 日本語を母国語としない者

留学生で履修を希望する場合、「英語」は抽選が必要な科目ですので、指定されたレベルの中から希望する曜日・時限を選んで「抽選講義申請」してください。

② 日本語

入学時のオリエンテーション時に、留学生を対象として「日本語プレメントテスト」を実施します。その結果により、「日本語Ⅰ」～「日本語Ⅱ」のレベルの中から受講クラスが指定されます。曜日・時限の変更は受けません。

③ 第二外国語[韓国語、中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語]

それぞれの原語の「Ⅰ」は全く経験のない入門者向け、「Ⅱ」は「Ⅰ」を修得した経験者向けの内容となっています。全く経験の無い人が「Ⅱ」を履修することは出来ません。

◆ レベルアップを遵守すべき科目

【簿記原理】

商学科および経営学科の「簿記中級A・B」は、「簿記入門」「簿記初級」の単位を修得した者でなければ履修できません。また「税務会計論」「工業会計論」「原価計算論」は、「簿記」の知識がなければ履修が困難です。

【芸能科目】

芸創プロデュース学科「芸能マネジメントコース」の科目のうち、次の科目は週2回の連続した授業を行います。段階的にレベルを上げていくので、途中からの履修はできません。詳しくは「芸能マネジメントコース」の先生に確認してください。

① DAWⅠ、DAWⅡ

② ダンスⅠ、ダンスⅡ

◆ 履修制限のある科目

春学期開講の「インターンシップ」を履修する場合は、「インターンシップ(実習)」と必ずセットで履修すること。

◆ 留学生のみ履修できる科目

基礎科目のうち、次の科目は留学生を対象とした科目であり日本人学生は履修できません。

- ① 語学系科目：CグループおよびDグループの「日本語」関連科目
- ② 教養科目：「日本事情(日本の文化と生活)」

◆ 留学生に配慮した科目

授業科目(特に基礎科目)の中には、留学生を対象とした授業内容のクラスが開講されています。

※ 留学生対象の科目は、履修登録時に配布する「時間割表」の備考欄に、「留学生対象」と記載してあります。

◆ イマージョン・プログラムを導入した科目

授業科目の中には、学生の言語能力の向上を狙いとして、英語・中国語などの言語による授業を行うクラスが開講されています。

※ イマージョン・プログラム科目は、履修登録時に配布する「時間割表」の備考欄に、「英語で講義」「中国語で講義」等、記載してあります。

◆ 語学科目のレベルの目安

※ 原則として、1年間に複数のレベルの科目は履修できません。

【英語レベルの目安】

- * 英語Ⅱ・・・英検3級・TOEIC 400点が目標
- * 英語Ⅲ・・・英検2級・TOEIC 500点が目標
- * 英語Ⅳ・・・英検準1級・TOEIC 600点が目標

【日本語レベルの目安】

- * 日本語Ⅱ・・・N3～N2レベル
- * 日本語Ⅲ・・・N2～N1レベル
- * 日本語Ⅳ・・・N1レベル以上
- * ビジネス日本語Ⅰ・・・・ビジネス日本語能力検定 J3が目標
- * ビジネス日本語Ⅱ・・・・ビジネス日本語能力検定 J2が目標

◆ 時間割の作成手順・要領

【卒業要件等の確認】

- ① 「学修上の規則」の『履修規程』別表1「卒業所要単位」および「入学年度別授業科目表」の中から、自分の入学年度に応ずる「卒業所要単位」および「授業科目表(配当年次および履修区分を含む)」を確認するとともに、卒業に必要な諸条件を充たすよう基礎科目・専門科目別の履修に関する計画を立てる。

【必修科目・選択必修科目の確認】

- ② 履修区分「必修科目」について、「紙に印刷された『時間割表』」で、①で確認した必修科目(専門科目2科目)をマークする。(◎印の科目)
*クラス指定されている科目があるので自分のクラスを探してマークする。
(「S.D.Seminar」「英語」「日本語」「経営学」等がクラス指定科目)
*クラス指定科目は、Web入力画面に当初から入力されています。
- ③ 履修区分「選択必修科目」の「語学系科目」について、卒業要件(卒業までに8単位)を考慮し、「紙に印刷された『時間割表』」に必要な科目をマークする。(○印の科目)
- ④ 「必修科目・選択必修科目」選択後の履修可能な残り単位数を確認する。

【選択科目の選択】

- ⑤ 卒業要件と履修可能な残り単位数を考慮し、『授業科目表』の「基礎科目」の中から興味のある科目を選択する。
- ⑥ 自分が進みたいコースを考慮し、「コース履修モデル」に配置された専門科目を選択する。《「コース履修モデル」参照》
- ⑦ 「紙に印刷された『時間割表』」を開き、⑤⑥で選択した科目を探して、必修科目、選択必修科目と曜日・時限が重複しないものをマークする。
- ⑧ 履修可能な残り単位数の範囲内で、興味のある科目(基礎科目、専門科目のいずれでも可)を『授業科目表』の中から選択し、「紙に印刷された『時間割表』」の科目をマークする。
- ⑨ マークした科目の単位数の合計を計算し、各学期22単位以内(1年次)に収まっているかを確認する。オーバーした場合は選択科目を削る。
※ 抽選が必要な科目を申請し抽選に落選した場合、再度⑦に戻る必要があります。

◆ 下書き用紙への記入

履修する科目が決まり“自分の時間割”が確定したら、「履修登録下書き用紙」に記入します。